

501P12100500

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 8月 2日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-234722

出 願 人
Applicant(s):

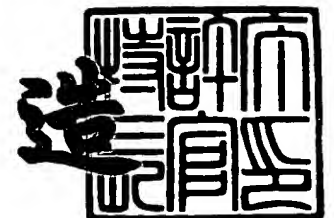
ソニー株式会社



2001年 5月25日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3043756

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000569408

【提出日】 平成12年 8月 2日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60
G06F 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都中央区新川 2 - 2 0 - 8 ヴィジョンアーツ株式
会社内

【氏名】 藤田 岳史

【発明者】

【住所又は居所】 東京都中央区新川 2 - 2 0 - 8 ヴィジョンアーツ株式
会社内

【氏名】 遠藤 仁史

【発明者】

【住所又は居所】 東京都中央区新川 2 - 2 0 - 8 ヴィジョンアーツ株式
会社内

【氏名】 八田 斉明

【発明者】

【住所又は居所】 東京都中央区新川 2 - 2 0 - 8 ヴィジョンアーツ株式
会社内

【氏名】 藤川 泰文

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川四丁目 7 番 3 5 号 サイバージーン
ドットコム株式会社内

【氏名】 佐藤 裕

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100101557

【弁理士】

【氏名又は名称】 萩原 康司

【電話番号】 03-3226-6631

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 040268

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワークオークション方法、ネットワークオークションサポート方法、ネットワークオークションサーバ、オークションサポートサーバ、並びに記録媒体。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークオークションサーバに登録されたオークション出展物にかかる情報を入札クライアントに表示させ、

入札クライアントが該オークション出展物について情報通知を指示したときに入札クライアントの識別 ID を記録し、

オークションによる取引価格が該入札時の価格から変化したときには該識別 ID を有する入札クライアントに対し、その時点における取引価格を通知することを特徴とするネットワークオークション方法。

【請求項 2】 ネットワークオークションサーバにオークション出展物にかかる画像情報が登録されるにあたり、該オークション出展物にかかる画像情報と操作者の操作をして該画像情報に基づいてネットワークオークションサーバとの通信を確立する関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像を生成し、該情報画像を入札クライアントに表示させ、

入札クライアントが該オークション出展物について情報通知を指示したときには入札クライアントの識別 ID を記録し、

オークションによる取引価格が該入札時の価格から変化したときには該識別 ID を有する入札クライアントに対し、その時点における取引価格情報を該画像情報に重畳した情報画像を通知してその表示をさせることを特徴とするネットワークオークション方法。

【請求項 3】 オークションサポートサーバがネットワークオークションサーバに出展する物にかかる画像情報の登録を促し、

該画像情報の登録があったときには、該オークション出展物にかかる画像情報と操作者の操作をして該画像情報に基づいてネットワークオークションサーバとの通信を確立する関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像を生成し、

該情報画像をネットワークオークションサーバに登録し、

該登録された情報画像を入札クライアントが表示した後、該入札クライアントが該オークション出展物についての情報通知を指示したときにはオークションサポートサーバが入札クライアントの識別IDを記録し、

ネットワークオークションサーバにおけるオークションによる取引価格が該入札時の価格から変化したときには、ネットワークオークションサーバがオークションサポートサーバに通知し、オークションサポートサーバが該識別IDを有する入札クライアントに対し、その時点における取引価格を通知することを特徴とするネットワークオークション方法。

【請求項4】 ネットワークオークションサーバに出展する物にかかる情報の登録を促し、

該情報の登録があったときには、該情報をネットワークオークションサーバに登録し、

該登録された情報を入札クライアントが表示した後、該入札クライアントが該オークション出展物に対する情報通知を指示したときには入札クライアントの識別IDを記録し、

ネットワークオークションサーバにおけるオークションによる取引価格が該入札時の価格から変化した旨の通知を受けたときに、該識別IDを有する入札クライアントに対し、その時点における取引価格を通知することを特徴とするネットワークオークションサポート方法。

【請求項5】 ネットワークオークションサーバに出展する物にかかる画像情報の登録を促し、

該画像情報の登録があったときには、該オークション出展物にかかる画像情報と操作者の操作をして該画像情報に基づいてネットワークオークションサーバとの通信を確立する関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像を生成し、

該情報画像をネットワークオークションサーバに登録し、

該登録された情報画像を入札クライアントが表示した後、該入札クライアントが該オークション出展物に対する情報通知を指示したときには入札クライアントの識別IDを記録し、

ネットワークオークションサーバにおけるオークションによる取引価格が該入

札時の価格から変化した旨の通知を受けたときに、該識別 I D を有する入札クライアントに対し、その時点における取引価格を通知することを特徴とするネットワークオークションサポート方法。

【請求項 6】 ネットワークオークションサーバに出展する物にかかる画像情報の登録を促し、

該画像情報の登録があったときには、該オークション出展物にかかる画像情報と操作者の操作をして該画像情報に基づいてネットワークオークションサーバとの通信を確立する関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像を生成し、

該情報画像をネットワークオークションサーバに登録することを特徴とするネットワークオークションサポート方法。

【請求項 7】 ネットワークオークションサーバに登録されたオークション出展物にかかる情報を入札クライアントに表示させるとともに、

入札クライアントが該オークション出展物に対する情報通知を指示したときには入札クライアントの識別 I D を記録し、

オークションによる取引価格が該入札時の価格から変化したときには該識別 I D を有する入札クライアントに対し、その時点における取引価格を通知するネットワークオークションサーバ。

【請求項 8】 ネットワークオークションサーバに出展する物にかかる画像情報の登録を促し、

該画像情報の登録があったときには、該オークション出展物にかかる画像情報と操作者の操作をして該画像情報に基づいてネットワークオークションサーバとの通信を確立する関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像を生成し、

該情報画像をネットワークオークションサーバに登録することを特徴とするオークションサポートサーバ。

【請求項 9】 コンピュータをして請求項 7 に係るネットワークオークションサーバとして動作させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 10】 コンピュータをして請求項 8 に係るオークションサポートサーバとして動作させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本願において開示する発明は、主としてパーソナルコンピュータなどの情報端末が接続されたネットワークに接続するオークションサーバなどに係る。

詳しくは、入札クライアントに対し、随時入札状況を表示させるようにすることで、入札効率の向上を図ったネットワークオークション方法に関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近時、インターネットの普及に伴い、販売される物が写真・説明文などとともにホームページ上に掲示され、この物に興味がある者はこの掲示に対して購入したい旨の申し出をすることで売買が成立するような売買サイトが出現している。このようなサイトにおいて、売買対象物が限られた数である場合には、いわゆるオークション手法が用いられている。オークションによる価格の決定については、いくつかの種類が考えられている。たとえば、販売する商品がひとつしかない場合には、その売買価格を購買希望者が競り合うことにより、最も高価な価格を付けた者だけが購入することができる手法がとられている。また、販売する商品が複数ある場合には、最も高い入札をした入札者から順に落札者となり、実際に入札した価格が落札価格とする手法と、最も高い入札をした入札者から順に落札とするものの、落札価格は最低価格で落札した方と同一価格とする手法とがとられている。

【 0 0 0 3 】

そしてこれらのオークションは、ネットワークに接続されたサーバで出展物についての情報を公開し、入札する者がその情報を見て、これを購入するのに適当と思う価格を提示し、これに対しサーバは複数の入札者が提示してきた価格を比較し、最終的に落札者を決めるという手法がとられている。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、このようなオークションのサイトには、入札者と出展者はそれぞれイ

ンターネットエクスプローラー（マイクロソフト社製）やネットスケープナビゲータ（ネットスケープ社製）などのブラウザソフトを使い、インターネットを介して接続するのが一般的である。このため、入札した者が興味をもった商品について、現在どのような価格で競られているのか把握するためには、何度もオークションのサイトサーバに接続し、状況を把握しなければならないという状況にあった。これでは、オークションを迅速に行うことは困難であった。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

本願発明は上記課題にかんがみてなされたものであり、以下のような手段によって課題の軽減を図ったものである。なお、以下、「取引価格」とは、少なくとも他の入札クライアントによる入札があったとき、その時点でオークションが終わったと仮定した場合の最高落札価格もしくは落札価格のことをいうものとする。

【 0 0 0 6 】

(1 . 請求項 1 に係る発明について)

本願請求項 1 に係る発明について、その目的とするところは、ネットワークオークションサーバに登録されたオークション出展物にかかる情報を入札クライアントに表示させ、入札クライアントが該オークション出展物について情報通知を指示したときに入札クライアントの識別 ID を記録し、オークションによる取引価格が該入札時の価格から変化したときには該識別 ID を有する入札クライアントに対し、その時点における取引価格を通知することを特徴とするネットワークオークション方法を提供することで、上記問題点の低減を図ったものである。

【 0 0 0 7 】

ここで、オークション出展物にかかる情報を入札クライアントに表示させることは、入札クライアントを操作する入札者に対し、オークションに提出された物の評価をできる状態にするように作用する。入札クライアントの識別 ID は、入札クライアントを特定するための符号であって、ネットワークオークションサーバ側から入札クライアントに対して情報を提供するときの送信先を特定することができるように作用する。取引価格の通知により、入札クライアントの操作者が

オークションの状況を把握するための情報取得操作を行わなくとも済むように作用する。

【 0 0 0 8 】

(2 . 請求項 2 に係る発明について)

本願請求項 2 に係る発明について、その目的とするところは、ネットワークオークションサーバにオークション出展物に係る画像情報が登録されるにあたり、該画像情報と操作者の操作をして該画像情報に基づいてネットワークオークションサーバとの通信を確立する関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像を生成し、該情報画像を入札クライアントに表示させ、入札クライアントが該オークション出展物について情報通知を指示したときには入札クライアントの識別 ID を記録し、オークションによる取引価格が該入札時の価格から変化したときには該識別 ID を有する入札クライアントに対し、その時点における取引価格情報を該画像情報に重畳した情報画像を通知してその表示をさせることを特徴とするネットワークオークション方法を提供することで上記課題の低減を図ったものである。

【 0 0 0 9 】

ここで、「画像情報と操作者の操作をして該画像情報に基づいてネットワークオークションサーバとの通信を確立する関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像」は、入札クライアントの操作者が、入札クライアントにおいて表示された画像を手がかりに、その画像に係る物が出展されているオークションの特定並びにそのオークションを行うネットワークオークションサーバとの通信が容易にできるように作用する。

【 0 0 1 0 】

(3 . 請求項 3 に係る発明について)

本願請求項 3 に係る発明について、その目的とするところは、さらにオークションサポートサーバを設置し、これに所定の動作をさせる方法を提供することで上記課題の低減を図ることにある。より詳しく説明すると、このオークションサポートサーバは、ネットワークオークションサーバに出展する物にかかる画像情報の登録を促し、該画像情報の登録があったときには、該オークション出展物に

かかる画像情報と操作者の操作をして該画像情報に基づいてネットワークオークションサーバとの通信を確立する関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像を生成し、該情報画像をネットワークオークションサーバに入札可能な物として登録するようにする。

【 0 0 1 1 】

そして、ネットワークオークションサーバは、入札クライアントを操作する者の要求で、入札可能な物に係る情報画像を入札クライアントに返送し、これらが入札クライアントで表示された後、入札クライアントの操作者がその入札クライアントからオークション出展物についての情報を通知するように指示したときにはオークションサポートサーバが入札クライアントの識別IDを記録する。

さらに、ネットワークオークションサーバにおけるオークションによる取引価格が該入札時の価格から変化したときには、ネットワークオークションサーバがオークションサポートサーバに通知し、オークションサポートサーバが記録していた識別IDを有する入札クライアントに対し、その時点における取引価格を通知するようにする。

【 0 0 1 2 】

ここで、「画像情報と操作者の操作をして該画像情報に基づいてネットワークオークションサーバとの通信を確立する関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像」は、請求項2に係る手段として記載したものと同じく、入札クライアントの操作者が、入札クライアントにおいて表示された画像を手がかりに、その画像に係る物が出展されているオークションの特定並びにそのオークションを行うネットワークオークションサーバとの通信が容易にできるように作用する。また、入札クライアントの識別IDは、入札クライアントを特定するための符号であり、ネットワークオークションサーバ側から、情報を提供するときの送信先を特定できるように作用する。

【 0 0 1 3 】

(4. その他の請求項に係る発明について)

その他、請求項4以降に係る発明については、図18に記載するとおりであるので、ここでの説明は省略する。

【 0 0 1 4 】

【 発 明 の 実 施 の 形 態 】

本願発明に係る実施の形態について、図 1 乃至図 1 7 を用いて説明する。なお、以下オークションの対象を「有体物」のように説明するが、サービスなどの無体物であっても、構わない。

【 0 0 1 5 】

(1 . 共 通 の 概 念)

まず、本発明の実施の形態並びにその変形例について共通する概念から説明する。特に、本願発明に係る情報画像、ネットワークオークションへの登録の操作、ならびにオークションに参加する入札クライアントの構成などについて詳述する。

【 0 0 1 6 】

(1 . 1 . 関 連 情 報 に つ い て)

まず、関連情報について説明する。関連情報とは、クライアントの操作者が、画像を視認してこの画像を手がかりに特定の動作をさせたい場合、その動作の基礎となる情報である。すなわち関連情報は、画像情報と関連づけられた情報であって、たとえば、クライアントの操作者に特定のサーバにある情報を参照させたい場合には、その情報を特定する情報（URL や IP アドレスなど）がこれにあたる。また、特定のプログラムを動作させたい場合には、そのプログラム名やプログラムそのものとしても構わない。たとえば、新たな画像情報をサーバから取得するなどの指示情報とすることができる。

【 0 0 1 7 】

(1 . 2 . 情 報 と と も に 関 連 情 報 を 内 包 す る 情 報 画 像 に つ い て)

次に同じく本実施の形態において共通して用いる概念である、関連情報が内包された情報画像について図 7 乃至図 8 を用いて説明する。ここで、内包させる情報としては、関連情報やその画像を特定するための識別子とすることができる。

【 0 0 1 8 】

図 7 は関連情報を埋め込んだ情報画像のフォーマットを例示した図である。ここで、画像情報は G I F フォーマットの画像を例にとっている。なお、フォー

ットについてはG I F形式をとらずとも、J P G形式やP C X形式などを採っても構わない。

【0019】

開始部701は、本情報がG I F形式の画像情報であることを識別するために設けられたフィールドであり、‘G I F’なる文字列ならびにそのバージョンが割り当てられたものである。配色表式画像データ703は、画素は、左から右、上から下の順序で配列された画像データである。ここで、G I Fの場合、可変長符号のL Z Wアルゴリズムを使って符号化されている。注釈拡張部705は、G I Fデータ・ストリーム中のグラフィック情報とはならない文章情報を含んでいる。これは、グラフィックや製作関係者名や内容説明に関する注釈、あるいは、その他、制御やグラフィックのデータでない類のもの全てを含めることができるようになっている。そして一般の表示ではこの部分を無視するようになっている。終了部706は、このデータ・ストリームが終了したことを示し、他のパラメータ情報などがこの後に続かないことを意味するようになっている。

【0020】

開始部701と配色表式画像データ703の間702と、配色表式画像データ703と注釈拡張部705の間704には、これら以外の情報を含んでいる。例として、画面幅、画面高さ、色解像度など、これから描画する画像に必要な表示装置の領域を定義するパラメータを含んだ情報が割り当てられている。関連情報707は、上記注釈拡張部705にそのまま、若しくは暗号化などの処理を施した後に配置され、ひとつの画像情報としてまとまることになる。これにより、結果として、データ・ストリームとしての画像情報は、その内部に関連情報や識別子を含むことができるようになる。

【0021】

これらの説明はすべてG I Fフォーマットで行ったが、他のフォーマット形式の画像形式であっても、このように画像情報と分離された領域に記録されれば構わない。

【0022】

次に別の画像情報への埋め込み形式について図8を用いて説明する。図8は関

連情報を埋め込んだ画像情報の別のフォーマットを例示した図である。ここでも、画像情報はG I Fフォーマットの画像を例にとっている。この例においても、フォーマットについてはG I F形式をとらずとも、J P G形式やP C X形式などを採っても構わない。

【0 0 2 3】

開始部8 0 1は、上記と同じく、本情報がG I F形式の画像情報であることを識別するために設けられたフィールドであり、‘G I F’なる文字列ならびにそのバージョンが割り当てられたものである。配色表式画像データ8 0 3は、画素は、左から右、上から下の順序で配列された画像データを配置するところであるが、ここでは画像情報8 0 7と関連情報8 0 8をウォーターマークの形式で混在させることにより、視覚上関連情報がそのまま視認できないようにするとともに、画像情報はそのまま視認できるようなものとなるように混合8 0 9されるようになっている。ここで、このようにして混合8 0 9された情報は、可変長符号のL Z Wアルゴリズムを使って符号化される。

【0 0 2 4】

注釈拡張部8 0 5は、G I Fデータ・ストリーム中のグラフィック情報とはならない文章情報を含んでいる。本例では特に必要としないフィールドであるが、必要となれば、自由な定義で情報提供者が利用することが可能である。終了部8 0 6は、このデータ・ストリームが終了したことを示し、他のパラメータ情報などがこの後に続かないことを意味するようになっている。

【0 0 2 5】

この画像例においてもすべてG I Fフォーマットで行ったが、他のフォーマット形式の画像形式であっても、このように画像情報と分離された領域に記録されれば構わない。

【0 0 2 6】

(1. 3. ネットワークオークションサーバと入札クライアントの関係)

次に本発明において情報画像が利用されるインフラストラクチャーとなるネットワークオークションサーバと入札クライアントの関係について図2を用いて説明する。

【 0 0 2 7 】

ネットワークオークションサーバ 2 0 1 は、ネットワーク 2 0 6 に接続された、オークションを実行するサーバであって、例えば以下の機能を具備するものである。

- (a) 出展クライアントからの出展情報を受け付ける機能
- (b) 入札クライアントからの出展情報取得要求にこたえてその出展情報を提供する機能、
- (c) 入札クライアントから入札を受け付ける機能
- (d) 入札クライアントからの入札が複数あったときには、オークションの手続きに従って、取引価格の提示をする機能
- (e) 所定の条件が揃ったときに、オークションの競り処理を終了し、落札の可否を判断するとともに、落札可能なときには、その落札者を入札クライアントの中から決定する機能

【 0 0 2 8 】

ここで、オークションの手続きとは、たとえば売買対象物がひとつしかない場合には、その売買価格を購買希望者が競り合うことにより、最も高い価格を付けた者を落札者として特定する手続きをいう。また、販売する商品が複数ある場合には、最も高い価格を提示した入札者から順に落札者とするのが一般的であるが、

- (a) その入札者が提示した入札価格を落札価格とする手続きや、
- (b) 最も高い入札をした入札者から順に落札とするものの、落札価格は最低価格で落札した方と同一価格とするなど、出展者の希望するルールやオークション開催者が望ましいと考えるルールに従って、売却対象者を確定する手続きをいう。これらはオークションのルールの例であり、複数の入札者のうち限定された数の入札者を決定する手法であるならば、他のルールによるものであっても勿論構わない。

【 0 0 2 9 】

入札クライアントの出展情報取得要求にこたえてその出展情報を提供する機能とは、出展クライアントから出展要請があったときに、これを入札クライアント

が参照できるように、入札クライアントに表示させることができる機能である。たとえば、入札クライアントがマイクロソフト社製のWEBブラウザ「インターネット・エクスプローラ」を利用しているのであれば、これからのHTTPプロトコルに基づく情報取得要求にしたがって、出展物に関する情報を発信するWEBサーバとして機能することになる。このとき、オークションの出展物として表示するための画像については、上述の情報画像を用いてあることが望ましい。こうすることで入札クライアントがする入札処理を極めて簡単なものとすることができるからである。この点については、実施の形態の動作の部分において詳述することにする。

【 0 0 3 0 】

入札を受け付ける機能とは、入札クライアントが特定された物に関し価格を指定して購買の意思を表示するときに、その価格と意思表示があった旨を受け付けて、その記録する機能である。

【 0 0 3 1 】

入札クライアント203は、前記ネットワークオークションサーバ201にネットワーク206を介して接続される情報表示装置であって、その内部に、それぞれ第1管理領域204と、第2管理領域205の動作をさせることができるようになっている。第1管理領域204は、ネットワークオークションサーバ201から取得した画像を表示するようになっており、後述のグラフィックイメージでいえば、情報提供ウインドウ302、402、ならびに情報提供フレーム603に該当する。ここにおいて第一管理領域のプログラムは、情報画像のうち内包する画像のみを表示するように作用する。第2管理領域205は、第1管理領域で、特定の画像が指定されたときには、その内容を登録するとともに、この内容を表示し、端末の操作者が図示しない操作手段によって、ここに表示される画像を特定したときには、この操作に基づいて少なくともひとつの関連情報を表示し、その情報に基づく何らかの処理を起動させ、また複数ある場合にはこれらを選択しその情報に基づく何らかの処理を起動させる制御をするようになっている。後述のグラフィックイメージでいえば、ワンタッチ・ウインドウ304、505、ならびにワンタッチ・フレーム602に該当する。

【 0 0 3 2 】

なおクライアントにおける第 2 管理領域、ならびに第 1 管理領域についてはそれぞれプログラムによって制御がされることになる。すなわち、第 2 管理領域において表示されている画像情報に係る情報画像のうち、これに内包される関連情報は、第 2 管理領域を制御するプログラムによって解釈され、操作者が指定した関連情報に対応すべき動作を実行できるようになっている。

【 0 0 3 3 】

(1 . 4 . 表示端末に表示されるグラフィックイメージについて)

本発明に係る入札クライアントに表示されるグラフィックイメージの例について図 3 乃至図 6 を用いて説明する。

【 0 0 3 4 】

(1 . 4 . 1 . コンピュータに好適なグラフィックイメージ例)

まず、表示・操作端末として Windows 9x, Windows NT, Windows 2000, Linux など、グラフィック表示が可能な OS をサポートしたコンピュータを使用した場合には、図 3 に示すようなルック・アンド・フィールを採ることが好適なので、これを説明する。

【 0 0 3 5 】

表示画面 3 0 1 は、例えばブラウン管表示面・TFT 液晶画面・人体に装着する眼鏡に組み込んだ表示装置における画面等であって、表示・操作装置からの情報を人間が視覚的に把握できるように作用する。なお、この図面上、表示画面 3 0 1 の境界部分はその表示デバイスの最外枠となっているが、表示デバイスの中に当該枠を表示しても構わない。ワンタッチ・ウインドウ 3 0 4 は、少なくとも画像（若しくは写真などの画像情報、以下同じ）3 0 5、3 0 6 を表示するウインドウであって、本情報表示装置の端末の操作者が図示しない操作手段によって、画像 3 0 5 を指定したときには、少なくともひとつの関連情報を表示し、その情報に基づく何らかの処理を起動させ、また複数ある場合にはこれらを選択しその情報に基づく何らかの処理を起動させることができるようになっている。すなわち、表示画面 3 0 1 上で、このワンタッチ・ウインドウ 3 0 4 は、画像 3 0 5、3 0 6 を手掛かりとして特定の動作をガイドさせるための特別の管理領域（第

2 管理領域）として作用しており、この領域内に表示されている画像を手掛かりにして、端末の操作者は新たな操作を実現できるようになっている。ここで操作手段としてマウスが備わっている場合には、マウスの右クリックをすることにより、ポップアップ・メニューを出現させ、ここに関連情報を表示するとともに、関連情報が複数の情報からなっている場合には、左クリックでこれら関連情報のうちのひとつを特定させるなどするのが好ましい。情報提供ウインドウ 3 0 2 は、少なくとも画像 3 0 3 等を表示するフレームである。本情報表示装置の端末の操作者が図示しない操作手段によって、このフレーム内に表示される画像を特定したときには、この操作に基づいて新たな画像がワンタッチ・ウインドウ 3 0 4 に追加・登録されるようになっている。なお、このときワンタッチ・ウインドウ 3 0 4 に追加される画像は、特定され情報提供ウインドウ 3 0 2 内に表示されていた画像をそのまま表示してもよく、また必要に応じて他の画像に換えても構わない。情報提供ウインドウ 3 0 2 には、画像の他、文字情報 3 0 7 などを表示するようにしてもよい。

【 0 0 3 6 】

すなわち、表示画面 3 0 1 上で、この情報提供ウインドウ 3 0 2 は、画像等を表示して端末の操作者に興味を持たせるとともに、端末の操作者が画像を特定する操作をすることで上記ワンタッチ・ウインドウ 3 0 4 への登録に導く管理領域（第 1 管理領域）として作用している。

【 0 0 3 7 】

なお、表示・操作端末の操作者による特定操作について、マウスなどのポインティングデバイスが操作手段に備わっているときには、そのポインタで登録したい画像を指定し、これをワンタッチ・フレーム 3 0 2 上に移動させてここに落とすという、所謂ドラッグ・アンド・ドロップというユーザ・インターフェース技法を使うことが望ましい（3 0 8）。このユーザ・インターフェースを使うと、たとえば情報提供ウインドウ 3 0 2 として、インターネットエクスプローラーやネットスケープナビゲータを使った場合、他の Windows プログラムと同様の操作フィールを得ることができるので、有利である。

【 0 0 3 8 】

(1. 4. 2. コンピュータに好適な別のグラフィックイメージ例)

また、別のインターフェース例として図4乃至図5に示すようなウインドウを使うことができる。

【0039】

表示画面401、501は、例えばブラウン管表示面・TFT液晶画面・人体に装着する眼鏡に組み込んだ表示装置における画面等、表示装置からの情報を人間が視覚的に把握できるように作用する。情報表示・登録ウインドウ402は、操作者に、情報提供者から得られる画像の表示並びに登録の操作を行わせるインターフェースとして機能するようになっている。情報提供タブ403は、情報表示・登録ウインドウ402の領域内に設けられた管理領域を選択するインターフェース要素であって、これがアクティブになったときには情報提供者から送付されてきた画像を第1管理領域405に表示できるようになっている。そして、本情報表示装置の端末の操作者が図示しない操作手段によって、ここに表示される画像を特定したときには、この操作に基づいて新たな画像が、ワンタッチ・タブ404がアクティブになったときに表示される第2管理領域に追加されるようになっている。

【0040】

ワンタッチ・タブ404は、情報表示・登録ウインドウ402の領域内に設けられた管理領域を選択するインターフェース要素であって、これをアクティブにしたときに第2管理領域を表示させ、第1管理領域405で登録を指示された画像について、これに係る新たな画像をその第2管理領域内505できるようになっている。そして、本情報表示装置の端末の操作者が図示しない操作手段によって、ここに表示される画像を特定したときには、この操作に基づいて少なくともひとつの関連情報を表示し、その情報に基づく何らかの処理を起動させ、また複数ある場合にはこれらを選択しその情報に基づく何らかの処理を起動させることができるようになっている。すなわち、情報表示・登録ウインドウ502上で、この第2管理領域505は、画像503、504を手掛かりとして特定の動作をガイドさせるための管理領域（第2管理領域）として作用しており、この領域内に表示されている画像を手掛かりにして、端末の操作者は新たな操作を実現でき

るようになっている。

【0041】

このユーザ・インターフェースを使うと、表示画面401, 501の面積が小さかったり、画面の解像度が低かったりする場合に、情報表示・登録操作を少ない表示領域で完結させることができ、有利である。

【0042】

(1. 4. 3. デジタルテレビやPDAに好適な別のグラフィックイメージ例)

次に、情報画像をデジタルテレビやPDA(Personal Data Assistance)などの携帯端末に対して利用する場合には、図6に示すようなルック・アンド・フィールを採ることが好適なので、これを説明する。

【0043】

表示画面601は、例えばブラウン管表示面・TFT液晶画面・人体に装着する眼鏡に組み込んだ表示装置における画面等、表示装置からの情報を人間が視覚的に把握できるように作用する。ここでも、この図面上、表示画面601の境界部分はその表示デバイスの最外枠となっているが、表示デバイスの中に当該枠を表示して実施しても構わない。

【0044】

ワンタッチ・フレーム602は、上記ワンタッチ・ウインドウと同じく機能するものであり、少なくとも画像608を表示するフレームであって、本情報表示装置の端末の操作者が図示しない操作手段によって、画像608を指定したときには、少なくともひとつの関連情報を表示し、その情報に基づく何らかの処理を起動させ、また複数ある場合にはこれらを選択しその情報に基づく何らかの処理を起動させることができるようになっている。すなわち、表示画面601上で、このワンタッチ・フレーム602は、画像608を手掛かりとして特定の動作をガイドさせるための特別の管理領域として作用しており、この領域内に表示されている画像を手掛かりにして、端末の操作者は新たな操作を実現できるようになっている。

【0045】

情報提供フレーム603は、上記情報提供ウインドウと同じく機能するもので

あり、少なくとも画像 6 0 5、6 0 6 等を表示するフレームであって、本情報表示装置の端末の操作者が図示しない操作手段によって、このフレーム内に表示される画像を特定したときには、この操作に基づいて新たな画像がワンタッチ・フレーム 6 0 2 に追加されるようになっている。

【 0 0 4 6 】

なお、このとき追加される画像は、特定され情報提供フレーム 6 0 3 内に表示されていた画像をそのまま表示してもよく、また必要に応じて他の画像に換えても構わない。情報提供フレーム 6 0 3 には、画像の他、文字情報 6 0 7 などを表示するようにしてもよい。すなわち、表示画面 6 0 1 上で、この情報提供フレーム 6 0 3 は、画像等を表示して端末の操作者に興味を持たせるとともに、端末の操作者が画像を特定する操作をすることで上記ワンタッチ・フレーム 6 0 2 への登録に導くという特別の管理領域（第 1 管理領域）として作用している。

【 0 0 4 7 】

なお、表示・操作端末の操作者による特定操作並びにワンタッチ・フレームへの登録について、マウスなどのポインティングデバイスが操作手段に備わっているときには、ポインタを登録したい画像を指定し、これをワンタッチ・フレーム 6 0 2 上に移動させて落とすという、所謂ドラッグ・アンド・ドロップというユーザ・インターフェース技法を使っても構わない。コンテンツ表示面 6 0 4 は、たとえば、デジタル放送における映画など、コンテンツを表示するフレームであり、端末の操作者が得たい情報を表示するために利用する領域である。なお、このコンテンツは動画などに限らず、静止画、文字放送の情報など、人間の視覚を刺激して伝達する一切の情報を含むものである。

【 0 0 4 8 】

（ 1 . 5 . 第 1 管理領域・第 2 管理領域間の通信）

第 1 管理領域と第 2 管理領域との間では関連情報等の通信を行うことになるが、これを実現するには、プロセス間もしくはスレッド間の通信によることになる。一般にプロセス間・スレッド間の通信について、その実現手法はさまざまなものを選択することができる。たとえば、2つの領域を制御する制御部が共通のメモリ空間を利用して通信をすることができる。また、新たな別のプロセスを作成

し、このプロセスとの間でCOM技術に基づいて通信を確立することで、第1管理領域と第2管理領域との間のデータ通信を行うことも可能である。

【0049】

(2. 本願に係る発明の実施の形態について)

(2. 1. 発明の実施の形態に係るシステムの構成について)

次に本発明の実施の形態に係る本システムの全体構成について、図1を用いて説明する。

【0050】

本システムは、ネットワークオークションサーバ102がオークションサポートサーバ101のサポートを受けながら、オークションを実行していくように構成したものである。オークションサポートサーバ101は、ネットワーク106に接続され、入札クライアント103、103-2、103-3並びにネットワークオークションサーバ102との通信ができるようになっている。そして、ネットワークオークションサーバ102から状況の通知を受け、入札クライアントに対し、オークションの状況に変化があったときには、入札クライアントに対し、その状況を通知できるようになっている。

【0051】

また、オークションサポートサーバ101は、出展クライアント107に対して、オークションに出展したいとする物の情報を入力するように促すとともに、ネットワークオークションサーバ102にその内容を通知するようになっている。この詳細は後述する。ネットワークオークションサーバ102は、図2を用いて説明したネットワークオークションサーバ201と同じく、ネットワーク206に接続された、オークションを実行するサーバであって、例えば出展クライアントからの出展情報を受け付ける機能、入札クライアントの画像情報取得要求にこたえてその出展情報を提供する機能、入札クライアントから入札を受け付ける機能、入札クライアントからの入札が複数あったときには、オークションの手続きに従って、競りあがった価格の提示をする機能、所定の条件が揃ったときに、オークションの競り上げ処理を終了し、落札の可否を判断するとともに、落札可能なときには、その落札者を入札クライアントの中から決定する機能を有してい

る。

【0052】

ここで、出展情報を受け付ける機能については、直接出展クライアントからの出展要請を受け付ける場合と、前記オークションサポートサーバ101を介して間接的に出展クライアント107からされた出展要請を受け付ける場合のいずれによっても構わない。

【0053】

出展クライアント107は、ネットワーク106に接続され、オークションサポートサーバ101もしくはネットワークオークションサーバ102からたとえば出展を促すページの情報を取得し、これに従って出展したいとする物に関する情報を送信できるようになっている。より具体的には、たとえばインターネットに接続されたコンピュータであって、オペレーティングシステムとしてWindows 2000などにより制御され、インターネットエクスプローラをブラウザソフトとして搭載したもので実現することができる。

【0054】

入札クライアント103は、ネットワーク106に接続され、その操作者によりネットワークオークションサーバ102に対してオークションの出展物を購入したい旨の意思表示を価格とともに提示することができるようになっている。なお、入札クライアントについてはネットワーク上で1つに限らず、複数の入札クライアント103-2、103-3などが存在するのが普通である。入札クライアントについては、更に後に詳述する。

【0055】

(2. 2. オークションサポートサーバの構成について)

次にオークションサポートサーバについて、図17を用いてその詳細を説明する。図17は、図1に記載されたシステムのうち、オークションサポートサーバ101の構成内容を記述したものである。

【0056】

情報画像生成部1701は、ネットワークを介して出展クライアント107とネットワークオークションサーバ102とに接続され、これらとの間で通信を行

い、情報画像、画像情報、関連情報などを受け取ることによって、これらを包含する新たな情報画像を生成するようになっている。情報画像一時記憶部 1 7 0 2 は、情報画像生成部で生成された情報画像を一時的に記録し、その後の処理の対応を行うようになっている。後述するように、入札クライアント 1 0 3 において情報画像が第 1 管理領域から第 2 管理領域に移された時には、その旨の通知があるが、クライアント管理部 1 7 0 3 は、その通知があったときにはその情報画像ごとにその入札クライアントの識別 ID を記録する。そして、ネットワークオークションサーバ 1 0 2 もしくは入札クライアント 1 0 3 から送出の要求があったときに記録された識別 ID を手掛かりに情報画像を入札クライアントにおける第 2 管理領域に表示がされるようにその情報画像を送出するようになっている。

【 0 0 5 7 】

(2 . 3 . 入札クライアントについて)

入札クライアントについては、特に OS としてマイクロソフト社の windows を使っている場合であって、第 1 管理領域の制御にインターネットエクスプローラーを利用した場合には、クライアントの構成を図 9 に示すような構成にすることで第 1 管理領域と第 2 管理領域、並びにその間の通信を実現することができる。

【 0 0 5 8 】

(2 . 3 . 1 . 入札クライアントの構成)

入札クライアントの構成について図 9 を用いて説明する。

【 0 0 5 9 】

画像表示部 9 0 1 は、たとえばマイクロソフト社製インターネットエクスプローラーであって、操作者より特定サーバの情報のダウンロード指示があったときには、その指示に基づいてサーバ 9 1 0 にネットワークを介して論理接続し、その情報を取得し、第 1 管理領域に表示するようになっている。また、第 2 管理領域は、たとえば、記録情報取得 9 0 4、情報画像記録部 9 0 5、関連情報取得部 9 0 6、画像を表示構成部 9 0 7、画像特定部 9 0 8、動作決定部 9 0 9 を構成して実施することができる。

【 0 0 6 0 】

通信COM 902は、OSの機能であるコンポーネント・オブジェクト・モデル (Component Object Model) を利用したプロセス（もしくはスレッド、以下同じ）間の通信実現手段であって、たとえばドラッグ・アンド・ドロップなどのユーザ・インターフェース操作があった場合に、ドラッグされたプロセスからドロップされたプロセスへの情報の伝送を実現するようになっている。

【0061】

記録情報取得部904は、ネットワークに接続され、サーバ910から情報画像を受け取り、次段の情報画像記録部905に転送するようになっている。情報画像記録部905は、通信COM 902もしくは記録情報取得部904から通知されてきたものであって、画像情報と関連情報がひとつの取り扱い単位としてまとめられている情報画像を記録するようになっている。なおここで、情報画像として記録するのでなく、画像情報と関連情報とをそれぞれ関連を持たせたまま別のメモリに記録させるなどしても構わない。情報画像記録部905はまた、第1管理領域から第2管理領域へのドラッグ・アンド・ドロップ操作などにより情報画像の登録動作があったときには、関連情報取得部906を介して、特定のサーバに情報画像が第2管理領域へ登録された旨の通知をするようになっている。関連情報取得部906は、情報画像記録部905に接続され、情報画像記録部905に記録された情報画像から、関連情報の部分のみを取得するようになっている。画像表示構成部907は、情報画像記録部905に接続され、第2管理領域からの表示として、情報画像記録部905に記録されている情報画像をすべてもしくは選択して表示するようになっている。即ち、前記ワンタッチ・フレーム（ワンタッチ・ウインドウ）を通して操作者が情報画像に係る画像を知覚できるようにする。画像特定部908は、OSインターフェース903の機能により、第2管理領域において表示されている画像を操作者が特定した場合、その画像に対応する情報画像が特定されるようになっている。動作決定部909は、画像特定部908と関連情報取得部906に接続され、操作者による特定を受けた情報画像の中の関連情報に基づいて動作を実行するようになっている。

【0062】

(2. 3. 2. 入札クライアントの動作例)

次に、入札クライアントとして図9のように構成した場合の動作について説明する。

【 0 0 6 3 】

入札クライアントの操作者は、オークションサーバ910から入札可能なオークション出展物の情報を取得し画像表示部901に表示させることになる。この時、画像表示部にインターネットエクスプローラーを使っている場合には、httpプロトコルによってオークションサイトのWEBページを表示するという動作を行うことになる。

【 0 0 6 4 】

そして、入札クライアントの操作を行う者が、表示された画像を見ることにより入札可能なオークション出展物を把握すると、この画像をドラッグ・アンド・ドロップなどによって第2管理領域に移す操作を行う。この時、ドラッグ・アンド・ドロップされる画像は情報画像であるので、通信COM902を通じて情報画像記録部905に記録されることになる。この時併せて、関連情報取得部906の作用により、動作決定部909を通じて、オークションサポートサーバ911にその情報画像を第2管理領域に登録した旨を通知することになる。

【 0 0 6 5 】

一方、第2管理領域に係る情報画像記録部905において記録された情報画像は、画像表示構成部907の作用によって、OSインターフェース903を介して入札クライアントの操作者にその表示がされることになる。そして、入札クライアントの操作者は、その表示された情報画像に記録された関連情報に基づいて、操作を行うと、画像特定部908ならびに動作決定部909の作用によって、その関連情報に関する動作を行うことになる。たとえば、その関連情報としてネットワークオークションサーバ910に入札を行う動作プログラムが記録されているとすると、この操作により、操作者はその情報画像に係るオークション出展物に対して入札を行うことができるようになる。また、関連情報としてネットワークオークションサーバのURLなどが含まれているのであれば、このURLに係るページを表示し、入札を促すことができるようになる。また、オークションサポートサーバ910から、第2管理領域において表示すべき情報画像の更新の

指示があった場合には、その更新すべき情報画像を伴って記録情報取得部 9 0 4 に通知があるので、この動作により情報画像記録部 9 0 5 に記録されている情報画像が追加もしくは更新されることになる。

【 0 0 6 6 】

(2 . 4 . 発明の実施の形態に係る動作について)

次に本発明の実施の形態におけるシステムの動作について、図 1 0 乃至図 1 4 を用いて説明する。図 1 0 は図 1 に示したシステムの各部の情報の流れに着目した情報フロー図である。

【 0 0 6 7 】

まず、出展クライアントの操作者は、出展クライアントからオークションにかけたい物についての情報を登録するために、オークションサポートサーバに対しオークション出展のための登録ページを要求する (1 0 0 1) 。

【 0 0 6 8 】

次にオークションサポートサーバは、この要求に対し出展クライアントにオークション出展物の登録をさせるために登録フォーム情報を送信する (1 0 0 2) 。この登録ページのフォームの例を図 1 1 に示す。オークション出展物の登録のためには、その出展物がどのようなものであるかを説明する情報が必要になるが、この例においては、画像についてはファイルがアップロードできるように出展クライアント上のファイルを選択するための指定部 1 1 0 1 、文章としてその物の説明を入力できるようにする文章指定部 1 1 0 2 、最低でもいくらで販売したいかを指定できるようにするための入札最低額指定部 1 1 0 3 、そしてどのオークションサイトに出品させるかを指定できるようにするためのオークションサイト選択部 1 1 0 4 が表示されるようになっている。出展クライアントの操作者はこのフォームに必要な事項を記入し、仮登録ボタン 1 1 0 5 をクリックする。すると、出展クライアントはオークションサポートサーバに対しフォームに記入された内容を送信することになる (1 0 0 3) 。なお画像ファイルの送信についての詳細は後述する。

【 0 0 6 9 】

次にオークションサポートサーバでは、得られた情報に基づいて、情報画像生

成部 1 7 0 1 の作用により情報画像の生成を行う (1 0 0 4) 。ここで、情報画像は、その画像情報としてアップロードされたオークション出展物に係る画像ファイルを用いるとともに、このオークション出展物に対して入札をする入札クライアントが簡単にこの出展物に係るオークションサーバとの間で通信が確立できるように、関連情報として、オークションサイト選択部によって選択されたオークションサーバへの接続情報若しくはそのオークションサーバへの入札プログラムを含ませるようにすることが望ましい。

【 0 0 7 0 】

この時、オークションにかける物について、登録確認をすることも可能である。この場合に図 1 2 に示すように、確認ページ 1 2 0 1 をオークションサポートサーバから出展クライアントに対し送信すればよい。そして、このページの中に登録を続行することを認容する登録ボタン 1 2 0 2 、ならびにやり直しを指示するやり直しボタン 1 2 0 3 を含ませるようにすればよい。

【 0 0 7 1 】

オークションサポートサーバにおいて、出展すべきオークション出展物が確定したときには、この情報をオークションサイト選択部によって選択されたオークションサーバに転送する (1 0 0 6) 。また、あわせて出展者にその登録が完了した旨を示すページを図 1 3 に示すようなページ形式で表示することが望ましい (1 0 0 5) 。

【 0 0 7 2 】

このようにして登録があったときには、オークションサーバでは、その出展物が管理できるため、これがオークションにかけられていることを示すホームページに掲載することが可能となる。

【 0 0 7 3 】

入札クライアントからどのようなものがオークションの対象になっているかを把握するためにその情報の要求があった場合 (1 0 0 7) には、この要求に应答してオークション出展物リストを表示させるように入札クライアントにその情報を転送する (1 0 0 8) 。

【 0 0 7 4 】

入札クライアントでは、そのオークション出展物リストは第1管理領域に表示されることになる。そして、画像として表示されているオークション出展物のうち、興味があるものがあれば、第2管理領域にドラッグ・アンド・ドロップなどして登録を行うことになる(1009)。このとき、この第2管理領域への登録動作によって、オークションサポートサーバに登録があった旨の通知が行われる(1010)。そして、オークションサポートサーバ中のクライアント管理部1703の作用によってこの入札クライアントがオークション出展物について興味があることを把握し、その記録を行うことになる。

【0075】

次に、入札クライアントの操作者は、第2管理領域において管理している情報画像に係るオークション出展物について入札をしたいときには、第2管理領域中の情報画像に含まれる関連情報に従ってこれを特定すると入札クライアントを画像特定部908・動作決定部909などの作用により、オークションサーバに入札の要求を行うことになる(1011)。このとき、入札要求はオークションサーバ中にある入札のためのフォームが含まれるホームページに一旦接続してダウンロードし、そのフォームに記入した後にこれを送信するようにして構わない。また、関連情報の構成の仕方によっては、オークションサーバに対する接続(1011)を、当該情報画像の特定とともに、その入札クライアントの識別IDを重畳して行うことも可能である。このようにすることで、いちいち入札フォームをダウンロードさせなくても入札が可能になり、迅速なオークション処理ができるようになる。

【0076】

この入札などにより、オークションサーバ上で取引価格等が変動した場合には、その情報をオークションサポートサーバに対してオークション出展物の特定とともに通知する(1012)。そして、サポートサーバでは、情報画像生成部1701の作用により、その新たな取引価格を含む情報画像を作成し、情報画像一時記憶部1702を通じて、クライアント管理部に通知し、オークションサポートサーバ101に記録されているそのオークション出展物に関する登録がされている入札クライアントに対し、新たな情報画像を配信することになる。このため

、そのオークション出展物に関する情報画像を第2管理領域に移動することにより登録をした入札クライアントにはすべてその出展物に関する取引情報がほぼ実時間で通知されることになる（1013，1014）。

【0077】

（2．5．変形例1）

前述の実施の形態においては、出展クライアントがオークションに出展したいとするものをあらかじめ情報画像に変換して、これをネットワークオークションサーバに登録した構成で説明したが、情報画像への変換を出展クライアントが行わなくとも、ネットワークオークションサーバが出展を受け付けた後にネットワークオークションサーバからオークションサポートサーバに対し情報画像の生成を依頼するようにすることも可能である。この場合のフローについて図15を用いて説明する。

【0078】

なお、この場合前述の構成と異なるところはほとんどなく、それぞれのクライアントもしくはサーバとの接続ならびにその動作についてのみが異なる。

【0079】

まず、出展クライアントの操作者は、出展クライアントからオークションにかきたい物についての情報を登録するために、ネットワークオークションサーバに対しオークション出展のためのページを要求する（1501）。

【0080】

次にネットワークオークションサーバは、この要求に対し出展クライアントにオークション出展物の登録をさせるために登録フォーム情報を送信する（1502）。この登録ページのフォームの例を図16に示す。オークション出展物の登録のためには、その出展物がどのようなものであるかを説明する情報が必要になるが、画像についてはファイルがアップロードできるように出展クライアント上のファイルを選択するための指定部1101、文章としてその物の説明ができるような文章指定部1102、最低でもいくらで販売したいかを指定するための入札最低額指定部1103が表示されるようになっている。出展クライアントの操作者はこのフォームに必要な事項を記入し、仮登録ボタン1105をクリックす

る。すると、出展クライアントはオークションサポートサーバに対しフォーム記入をした内容を送信することになる（1503）。

【0081】

ここで前述の実施の形態ではオークションサイトの選択部が表示されていたのに対し本変形例でこれが表示されていない。これは、本変形例においては出展者が出展したいネットワークオークションサーバに接続しているのでその選択は必要ないからである。

【0082】

次にネットワークオークションサーバでは、オークションサポートサーバに対し、情報画像の生成を依頼することになる（1504）。オークションサポートサーバは、情報画像生成部1701の作用により情報画像の生成を行い、その結果得られた情報画像をネットワークオークションサーバに送り返す（1505）。ここで、情報画像は、その画像情報としてアップロードされたオークション出展物に係る画像ファイルを用いるとともに、このオークション出展物に対して入札をする入札クライアントが簡単にこの出展物に係るオークションサーバとの間で通信が確立できるように関連情報としてオークションサイト選択部によって選択されたオークションサーバでの接続情報を含ませるようにすることが望ましい。このようにして出来上がった情報画像は、これがオークションにかけられていることを示すホームページに掲載することが可能となる。

【0083】

入札クライアントからどのようなものがオークションの対象になっているかを把握するためにその情報の要求があった場合（1507）、この要求に応答してオークション出展物リストを表示させるように入札クライアントにその情報を転送する（1508）。

【0084】

入札クライアントでは、そのオークション出展物リストは第1管理領域に表示される。そして、画像として表示されているオークション出展物のうち、興味があるものがあれば、第2管理領域にドラッグ・アンド・ドロップなどして登録を行うことになる（1509）。このとき、この第2管理領域への登録動作によっ

て、オークションサポートサーバに登録があった旨の通知が行われる（1510）。そして、オークションサポートサーバ中のクライアント管理部1703の作用によってこの入札クライアントがオークション出展物について興味があることを把握し、その記録を行うことになる。

【0085】

次に、入札クライアントの操作者は、第2管理領域において管理している情報画像に係るオークション出展物について入札をしたいときには、第2管理領域中の情報画像に含まれる関連情報に従ってこれを特定すると入札クライアントを画像特定部908・動作決定部909などの作用により、オークションサーバに入札の要求を行うことになる（1511）。このとき、入札要求はオークションサーバ中にある入札のためのフォームが含まれるホームページに一旦接続してダウンロードし、そのフォームに記入した後にこの内容を送信するようにしてもよい。また、関連情報の構成の仕方によっては、オークションサーバに対する接続（1511）を、当該情報画像の特定とともに、その入札クライアントの識別IDを重畳して行うことも可能である。このようにすることで、いちいち入札フォームをダウンロードさせなくても入札が可能になり、迅速なオークション処理ができるようになる。

【0086】

この入札などにより、オークションサーバ上で取引価格が変動した場合には、その情報をオークションサポートサーバに対してオークション出展物の特定とともに通知する（1512）。そして、サポートサーバでは、情報画像生成部1701の作用により、その新たな取引価格を含む情報画像を作成し、情報画像一時記憶部1702を通じて、クライアント管理部に通知し、オークションサポートサーバ101に記録されているそのオークション出展物に関する登録がされている入札クライアントに対し、新たな情報画像を配信することになる。このため、そのオークション出展物に関する情報画像を第2管理領域に移動することにより登録をした入札クライアントにはすべてその出展物に関する取引情報がほぼ実時間で通知されることになる（1513, 1514）。

【0087】

(2. 6. 変形例 2)

上記の説明においては、オークションサポートサーバとネットワークオークションサーバを分離し独立したサーバとして説明したが、これらは機能的に分離していればよく、一体のサーバで実施してもよいことは言うまでもない。

【0088】

(2. 7. 変形例 3)

上記発明の実施の形態において説明したシステムを用いることで、落札後の決済についても容易に実現することができる。この点を図9並びに図17を用いて説明する。

【0089】

このためには、予め第2管理領域をコントロールするプログラムを入札クライアントのコンピュータにインストールするときなどに、決済口座などを登録できるようにしておく。そして、その登録情報はオークションサポートサーバに記録しておくものとする。

【0090】

一方、入札クライアントからオークションサーバに対し入札をするにあたり（1011）、その通信する情報の中に当該第2管理領域の識別情報も併せてネットワークオークションサーバに送信するものとし、ネットワークオークションサーバはこの情報を入札情報とともに記録するものとする。そしてネットワークオークションサーバが当該入札クライアントを落札者として決定した後に、その落札者に係る第2管理領域の識別情報を用いてオークションサポートサーバに問い合わせを行い、決済口座からその支払い決済などを行うことが可能になる。もちろん、同様の手続きにより、出展者に対する決済口座も把握することができるので、これに基づき、入金決済を行うことも可能である。

【0091】

(3. 画像のアップリンクについて)

出展クライアントからオークションサポートサーバもしくはネットワークオークションサーバへの通信においてはファイルの転送を伴うことになるが、この際、クライアント側からWEBブラウザを使ってファイルをアップロードする機能

は、Request For Comments (R F C) 1867 で定義されているので、これを用いて実現することができる。たとえばマイクロソフト社製のWindows 2 0 0 0 上にインプリメントされているI I S 5 . 0 を用いてサーバを構成する場合には、Posting Acceptor をインプリメントして行えばよい。

【 0 0 9 2 】

Posting Acceptor をサーバにインプリメントすると、cps host . d l l なるファイルがサーバ上に登録され、IIS5.0のISAPI（インターネット・サーバ・アプリケーション・プログラム・インターフェース）として機能する。クライアントとして動作するユーザ・ブラウザは、このISAPIに向かってFORMを投げることによりファイルのアップロードができるようになる。

【 0 0 9 3 】

具体的には、登録開始のためのページに、このフォームの中にアップロードするディレクトリの指定とともに、cps host . d l l をアクションの目的ファイルとしたフォームを構成すればよい。図 1 4 にこのプログラムの骨子例を示す。

【 0 0 9 4 】

FORMタグ 1 4 0 1 の中には、このページの中で特定されたファイルをサーバ中のどこに入れるべきであることを示す隠し変数 1 4 0 4 が含まれている。また、アップロードするファイル名をクライアントコンピュータの中に記録されているファイルから選択すべき旨を指定するINPUTタグをそれぞれ、画像ファイルと関連情報ファイルについて記述されている（1 4 0 2、1 4 0 3）。

【 0 0 9 5 】

このような記述をHTMLファイルで実現しておけば、Posting Acceptorを通じて、クライアント中のファイルをサーバに転送することが可能となる。

【 0 0 9 6 】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、ネットワークオークションサーバにおける取引価格の変動などが起こったときにはこれに興味を持つ者もしくは入札を行った者に対して、その情報が迅速に伝わるので、オークションの効率化などを図ることができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本願発明に係る発明の実施の形態におけるシステム図である。

【図 2】

入札クライアントで実現される管理領域図である。

【図 3】

本願発明で前提となっているクライアントで実現される第 1 管理領域から第 2 管理領域への情報画像登録のために行うドラッグ&ドロップ操作図である。

【図 4】

本願発明で前提となっているクライアントで実現される第 1 管理領域から第 2 管理領域への情報画像登録のために行う、別の情報画像登録操作図である。

【図 5】

本願発明で前提となっているクライアントで実現される第 1 管理領域から第 2 管理領域への情報画像登録のために行う、別の情報画像登録操作図である。

【図 6】

本願発明で前提となっているクライアントとして P D A などの表示領域が比較的小さい端末で実現される第 1 管理領域から第 2 管理領域のレイアウト図である。

【図 7】

情報画像の構成例である。

【図 8】

情報画像の別の構成例である。

【図 9】

本願発明の実施の形態における入札クライアントの構成図である。

【図 1 0】

本願発明の実施の形態における情報フロー図である。

【図 1 1】

本願発明に係る出展のための表示例図

である。

【図 1 2】

本願発明に係る出展確認ページの表示例図である。

【図 1 3】

本願発明に係る登録完了を示すページ表示例図である。

【図 1 4】

本願発明の実施の形態における画像ファイル転送を実現するPosting Acceptorを用いた登録ページプログラム例図である。

【図 1 5】

本願発明の実施の形態の変形例における情報フロー図である。

【図 1 6】

本願発明の実施の形態の変形例における出展のための表示例図である。

【図 1 7】

本願発明の実施の形態におけるオークションサポートサーバの構成図である。

【図 1 8】

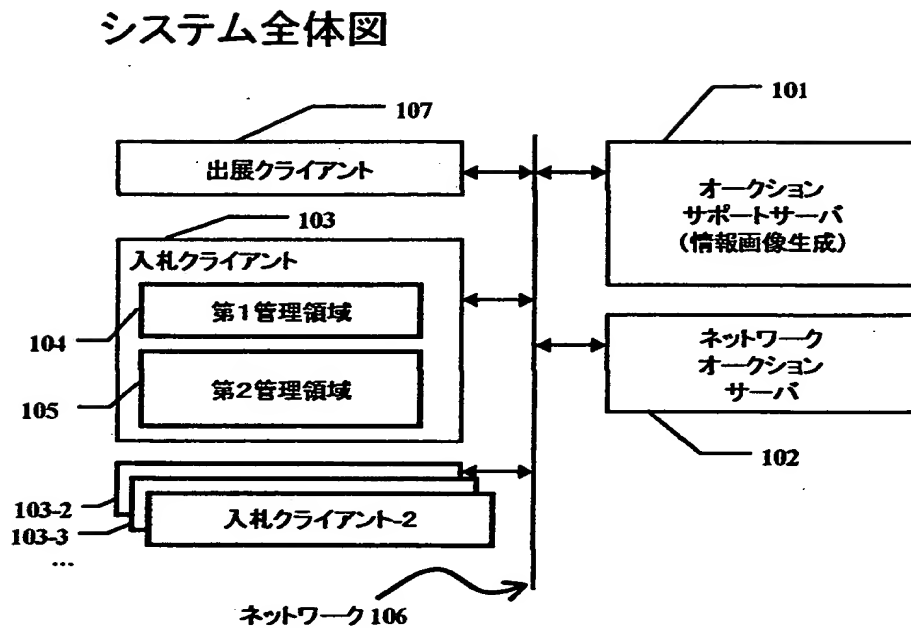
本願特許請求の範囲の各請求項間の関係を示した図である。

【符号の説明】

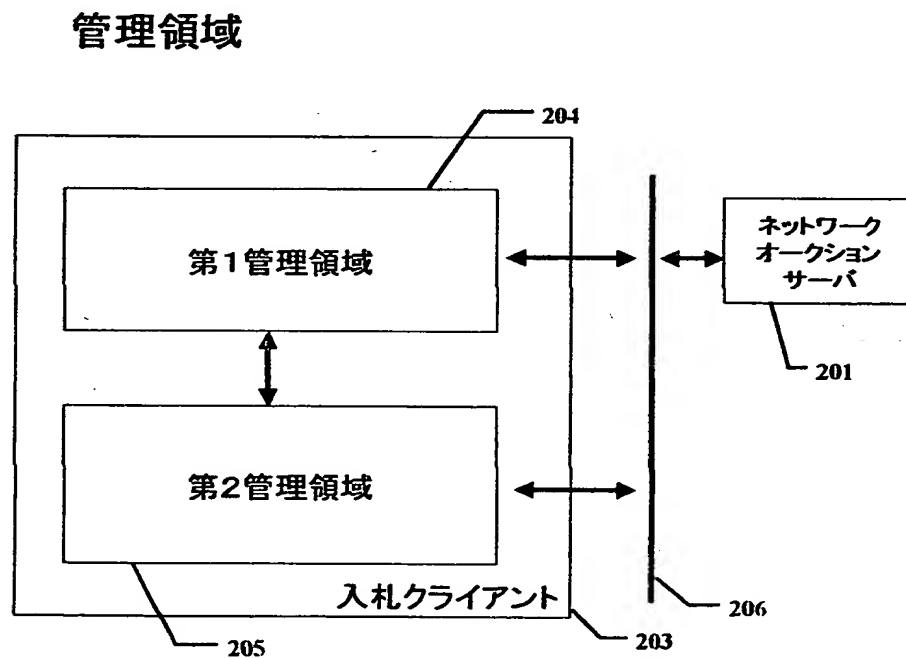
- 1 0 1・・・オークションサポートサーバ
- 1 0 2・・・ネットワークオークションサーバ
- 1 0 7・・・出展クライアント
- 1 0 3・・・入札クライアント
- 2 0 4・・・第 1 管理領域
- 2 0 5・・・第 2 管理領域

【書類名】 図面

【図 1】

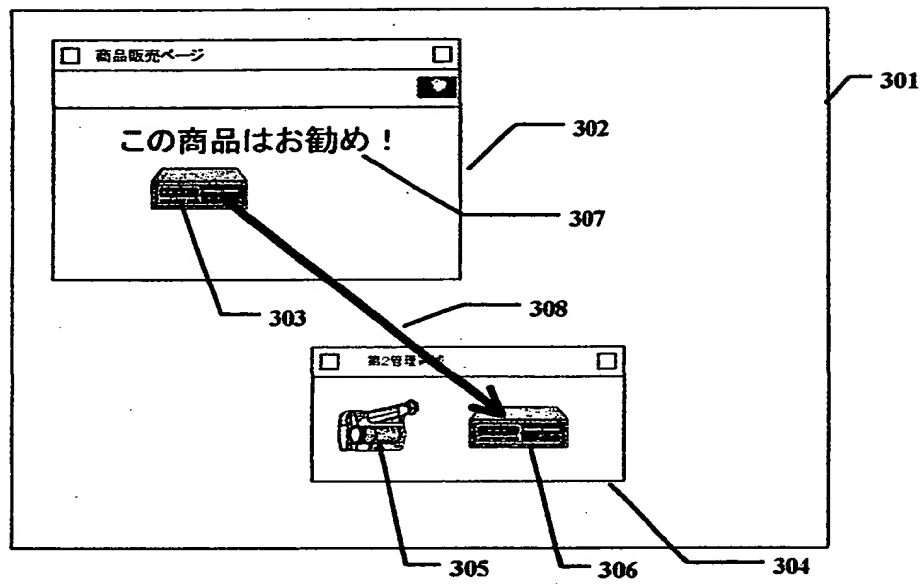


【図 2】



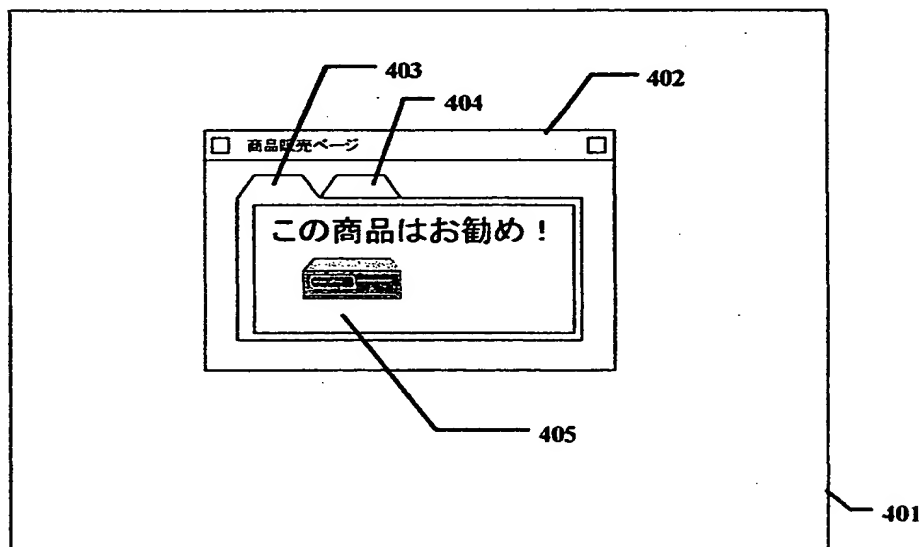
【図 3】

Drag & Drop 操作



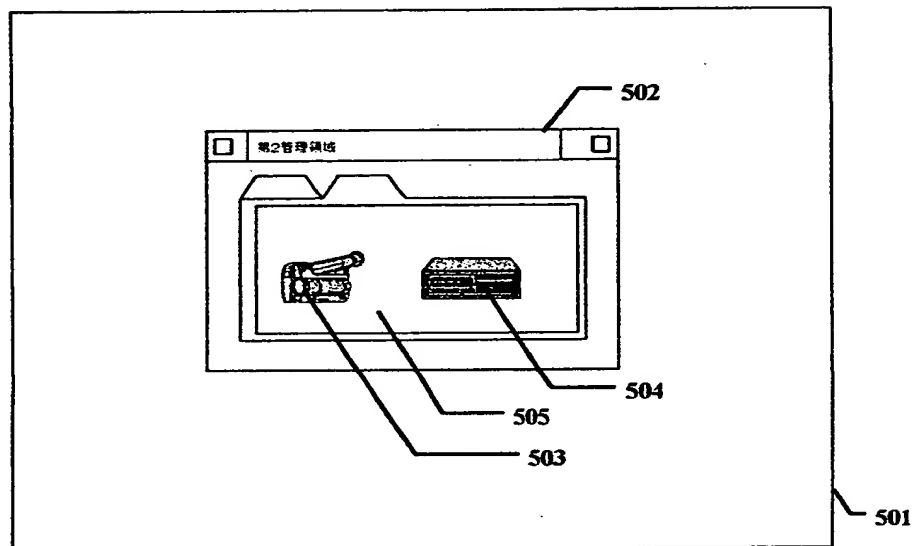
【図 4】

情報画像登録操作(1)



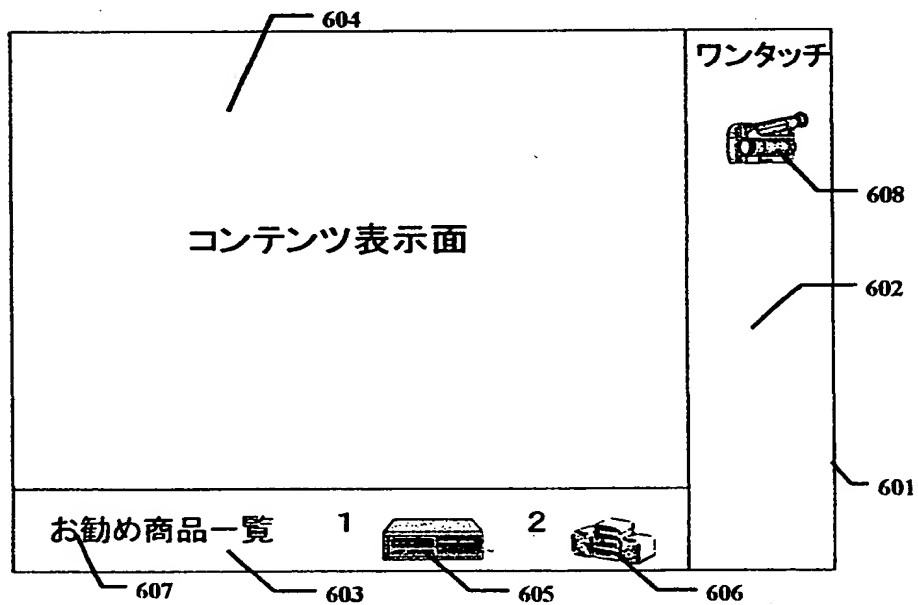
【図 5】

情報画像登録操作(2)



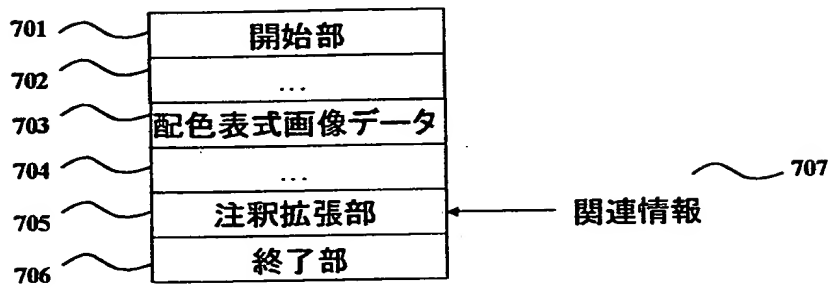
【図 6】

DTV/PDAでのアイコン登録操作



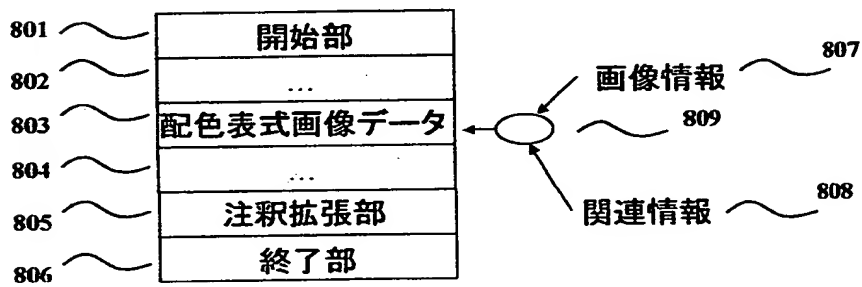
【図 7】

情報画像への関連情報埋め込み例

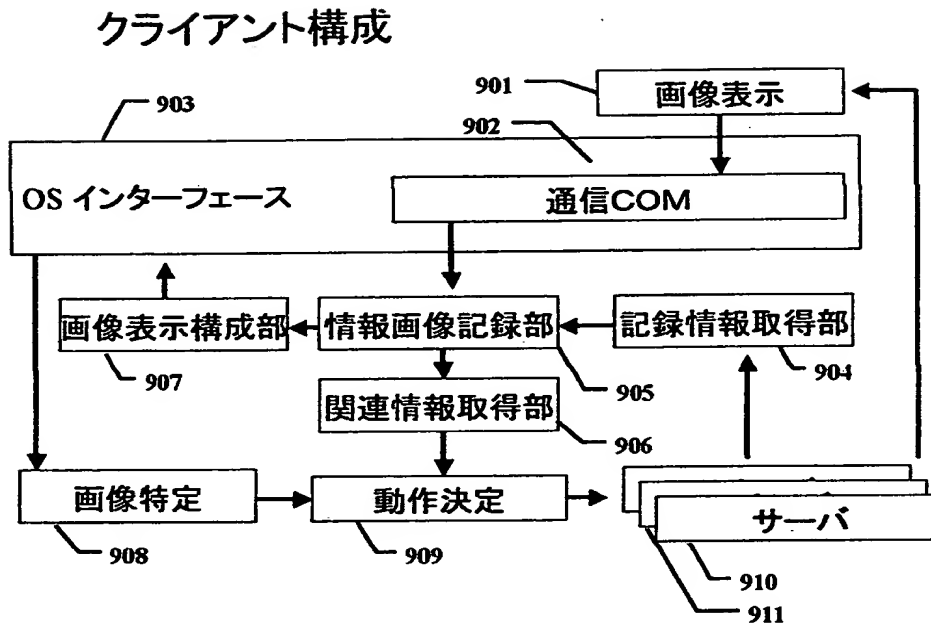


【図 8】

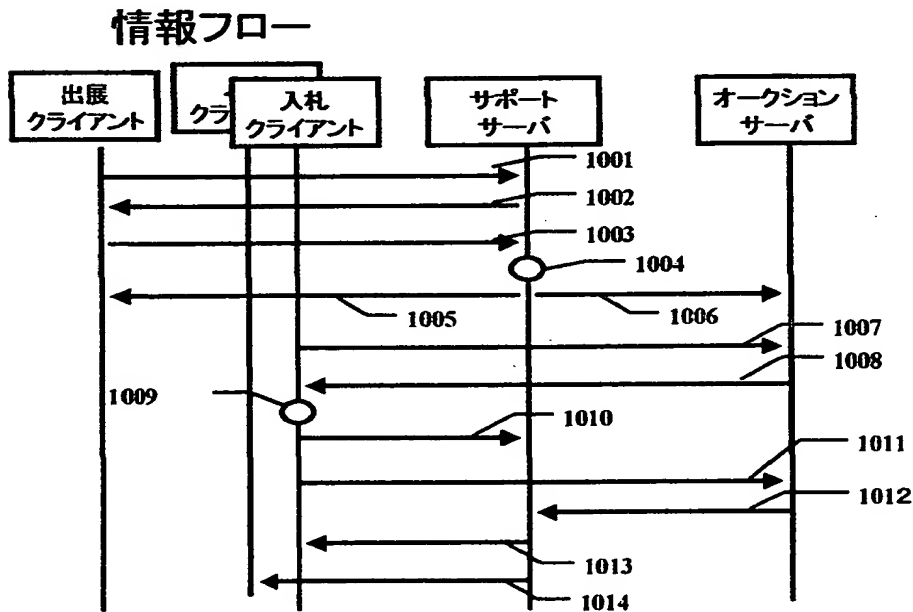
情報画像への関連情報埋め込み例



【図9】



【図10】



【図 1 1】

画像生成開始のためのクライアント表示

オークション出展登録

アップロードする
画像ファイル名 参照

この商品の説明をしてください。
完璧ステレオスピーカです。
音にうるさい貴方もこれなら納得！

入札最低額

オークションサイトの選択

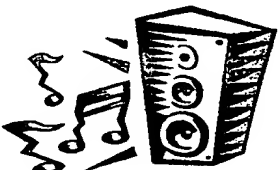
☐ A-オークション ☐ D-オークション
☐ B-オークション ☐ E-オークション
☐ C-オークション ☐ F-オークション

仮登録

【図 1 2】

確認ページ

次のような商品を登録します。

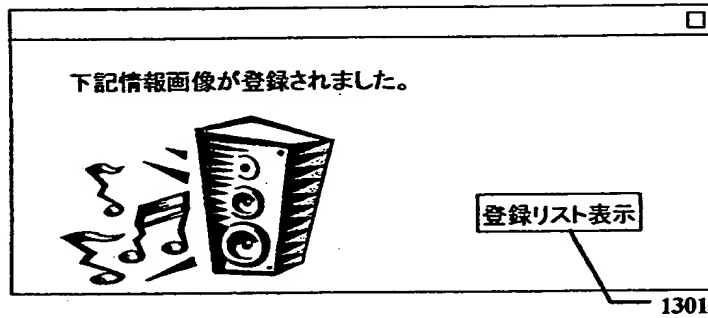
 完璧ステレオスピーカです。
音にうるさい貴方もこれなら納得！

入札最低額 ￥1000

登録 やり直し

【図 1 3】

登録完了を示すページ

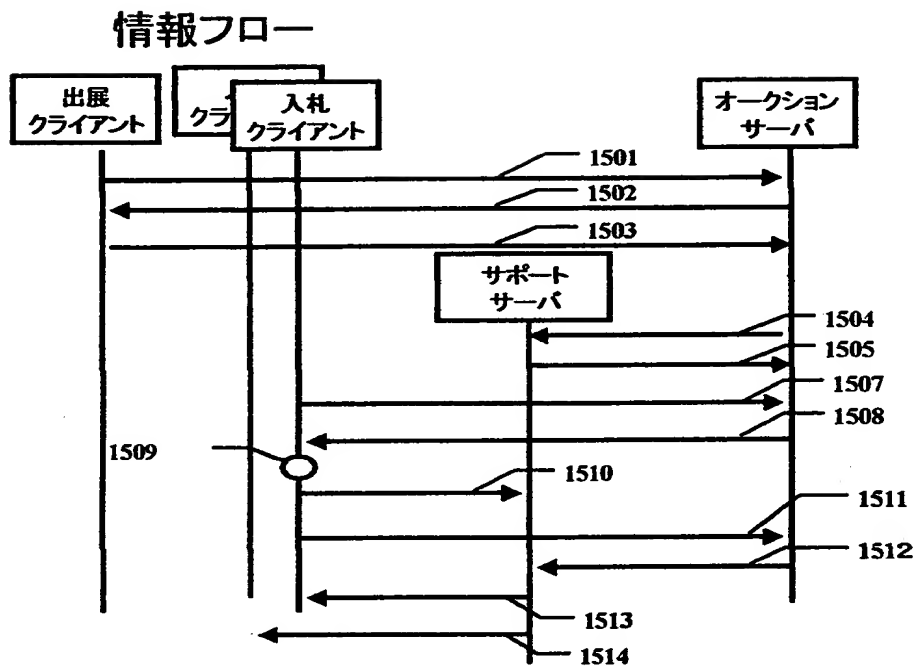


【図 1 4】

Posting Acceptor を用いた登録ページ

```
<form enctype="multipart/form-data"
  action="/scripts/cps host.dll?PUBLISH?http://Server/scripts/Confirm.asp"
  method="POST" id=form1 name=form1>
<input type="hidden" name="TargetURL" value="http:// Server /Upload">
<TABLE>
<tr>
  <td align="left">アップロードする画像ファイル名</td>
  <td align="left"><input name="filePic" type="file" size="20"></td>
</tr>
<tr>
  <td align="left">アップロードする関連情報ファイル名</td>
  <td align="left"><input name="fileinfo" type="file" size="20"></td>
</tr>
<tr>
  <td>
    <input type="Submit" value="仮登録" id="Submit" name="Submit"></td>
  <td></td>
</tr>
</table></center>
</form>
```

【図15】

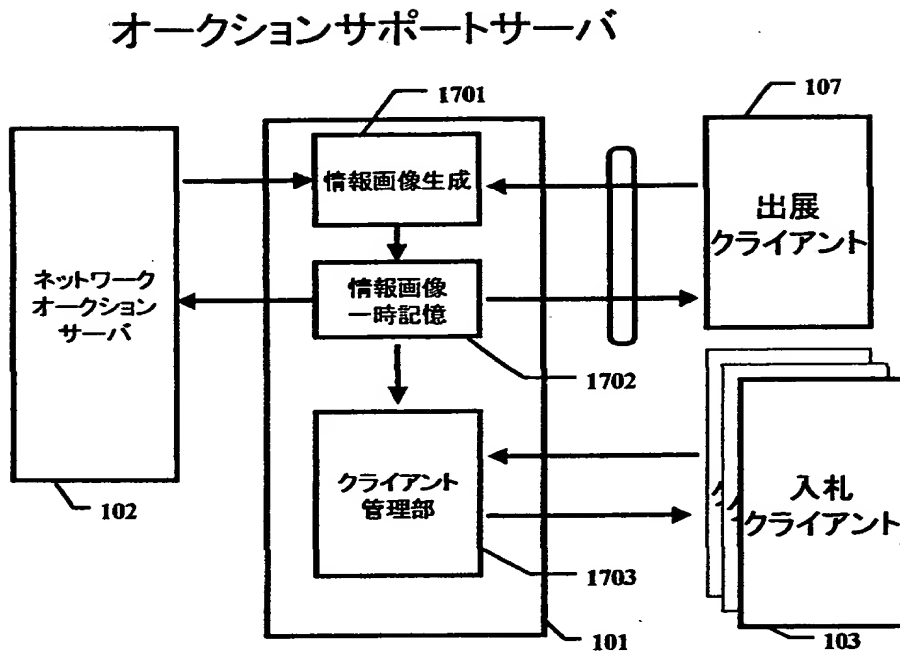


【図16】

出展クライアントでのフォーム表示例

The screenshot shows a web form titled "オークション出展登録" (Auction Registration). It contains the following elements: 1601 (Input field for "アップロードする画像ファイル名" (Image file name to upload) with a "参照" (Reference) button), 1602 (Text area for "この商品の説明をしてください。" (Please describe this product.) containing the text "完璧ステレオスピーカです。音にうるさい貴方もこれなら納得！" (Perfect stereo speaker. Even noisy people will be satisfied with this!)), 1603 (Input field for "入札最低額" (Minimum bid amount)), and 1105 (A "仮登録" (Temporary registration) button).

【図 17】



【図 18】

請求の 範囲に 記載の 請求項	基礎となる技術が記載され た請求項								要部	カテゴリ
	1	2	3	4	5	6	7	8		
1									入札クライアント・オークションサーバでの一連の動作を行うオークションの実行方法	ネットワークオークション方法
2	○								入札クライアント・オークションサーバでの一連の動作を行うオークションにおいて、情報画像を利用してこれを実現する方法	ネットワークオークション方法
3									入札クライアント・オークションサーバに加え、オークションサーバポートサーバを用いて一連のオークション動作を行うオークションの実行方法	ネットワークオークション方法
4			○						請求項3に記載したオークション実行方法のうち、オークションサーバポートサーバにおける動作に関する「ネットワークオークションサーバポート方法」	ネットワークオークションサーバポート方法
5			○						入札クライアント・オークションサーバ・オークションサーバポートサーバを用いて一連の動作を行うオークションにおいて、情報画像を利用してこれを実現する実行方法オークションの実行方法	ネットワークオークション方法
6			○						入札クライアント・オークションサーバ・オークションサーバポートサーバを用いて一連の動作を行うオークションにおいて、オークションサーバポートサーバが情報画像の生成を行う場合の「ネットワークオークションサーバポート方法」	ネットワークオークションサーバポート方法
7	○								請求項1の方法を実現するための装置	ネットワークオークションサーバ
8						○			請求項6の方法を実現するためのサーバ装置	オークションサーバポートサーバ
9							○		ネットワークオークションサーバを構成するための記録媒体	記録媒体
10									オークションサーバポートサーバを構成するための記録媒体	記録媒体

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ネットワークオークションを実行するにあたり、入札をする者が迅速にオークションの現状を把握することができるようにする。

【解決手段】 オークション出展物にかかる画像情報と操作者の操作をして該画像情報に基づいてネットワークオークションサーバとの通信を確立する関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像を生成し、情報画像を入札クライアントに配布（1008）することで、入札者からオークションサイトへの入札ページのアクセスを容易にするとともに、配布された情報画像をサーバで追跡することにより入札状況を入札者に通知する。

【選択図】 図10

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更新月日	1990年 8月30日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都品川区北品川6丁目7番35号
氏 名	ソニー株式会社